

水 稲

放射性セシウム吸収抑制対策

① 加里質肥料を施肥

旧日光町、旧今市町

塩化加里 18 kg/10a

左記以外の日光市

塩化加里 10 kg/10a

(作付前に通常の基肥肥料に加えて施肥)

【東日本大震災農業生産対策交付金(放射性物質吸収抑制対策)対象市町】
(水稲) 日光市

その他の地域

土壤加里濃度 25 mg/100g を目標として、加里を増肥する

塩化加里の増肥量 (kg/10a) = (25 - 土壤の交換性加里濃度(mg/100g)) ÷ 0.6
(黒ボク土の場合。灰色低地土の場合は、上記式 × 1.35。)

② 15 cm 以上の深耕

深く耕すことにより放射性セシウムが土壤に固定され、さらにセシウムが拡散するため、根によるセシウムの吸収量が少なくなります。

③ 倒伏させない稲づくり

倒伏すると土が収穫物に付着する危険性が高まります。多肥栽培を避け、生育に応じた適正な水管理を実施するなど、倒伏させない稲づくりをしましょう。

④ 土の混入防止

収穫、乾燥、調製作業において、農機具等の清掃を徹底し、粳や玄米に土が混入しないように注意しましょう。